

2023年度 触媒学会・触媒工業協会交流サロン 開催報告

2023年度「触媒学会・触媒工業協会交流サロン」を、2023年12月8日(金)14時より、東京都千代田区のワイム貸会議室 お茶の水にて開催した。この交流サロンは、かつて触媒学会が主催していた「産学交流サロン」(更に前は「キャタリストサロン」)を発展させたもので、触媒工業協会との共催になってから、本年度で13回目となる。

講演会は、オンラインでの参加も可能なように、会場と一方向のオンライン配信とを併用したハイブリッドの形式で開催した。

開会にあたり、触媒学会会長の薩摩先生にご挨拶をいただいた後、産側からは令和4(2022)年度触媒工業協会技術賞受賞者による講演2件、学側からは同年度触媒学会奨励賞を受賞した若手研究者による話題提供4件が行われた。ご講演いただいた6名の方々に、この場を借りて深く感謝の意を表したい。

また、講演会終了後には、近くのレストランに場所を移して交流会(懇親会)を開催し、当協会の遠藤会長による乾杯のご挨拶の後、約2時間にわたって相互の交流を深めた。

【当日のプログラム】

1. 講演会の部 : 14:00-17:15

開会のご挨拶

触媒学会会長 薩摩 篤 先生

触媒工業協会令和4年度技術賞受賞者による講演

14:05-14:35

「シリーズハイブリッド自動車における三元触媒浄化反応モデルの構築とその活用」

エヌ・イー ケムキャット(株) 岡島 利典 様

14:35-15:05

「機械学習および多目的最適化手法を用いた触媒設計」

日揮触媒化成(株) 酒井 伸吾 様

(休憩 15:05-15:15)

若手研究者による話題提供 (2022年度触媒学会奨励賞受賞者)

15:15-15:45

「金属ヒドリド種の反応性制御を基盤とした触媒的有機変換反応の開発」

大阪公立大学 喜多 祐介 先生

15:45-16:15

「バイオマス由来C4化合物合成のための新規プラットフォーム中間体の開発」

北海道大学 SHROTRI Abhijit 先生

16:15-16:45

「燃料アンモニア燃焼触媒の局所構造と反応特性」

産業技術総合研究所 日隈 聡士 先生

16:45-17:15

「天然炭素資源からの有用化学品合成に向けた協奏機能触媒の開発」

大阪大学 山口 渉 先生

2. 交流会の部：17:30-19:30

ご挨拶・乾杯

中締め

触媒工業協会会長 遠藤 晋 様

触媒学会副会長 伊藤 宏行

今回の参加者は、講演会 45 名(うち 8 名はオンライン)、交流会 33 名と、コロナ禍前と同等の規模となった。なお、当協会の会員はオンライン参加を含めて 9 社 14 名であった(両方に所属する参加者は当協会会員としてカウント)。

この交流サロンは、産学官のそれぞれに所属する触媒関係者の交流の場であると同時に、若手も含めて世代を超えた交流の場になることを期待して、毎年この時期に開催している。次年度も若手を含めた多くの会員にご参加いただけることを期待している。



講演会の会場風景